



IBJ* 防除情報 第90号

(*Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)

ご説明
します



今月の特集

なぜ水田雑草なのか

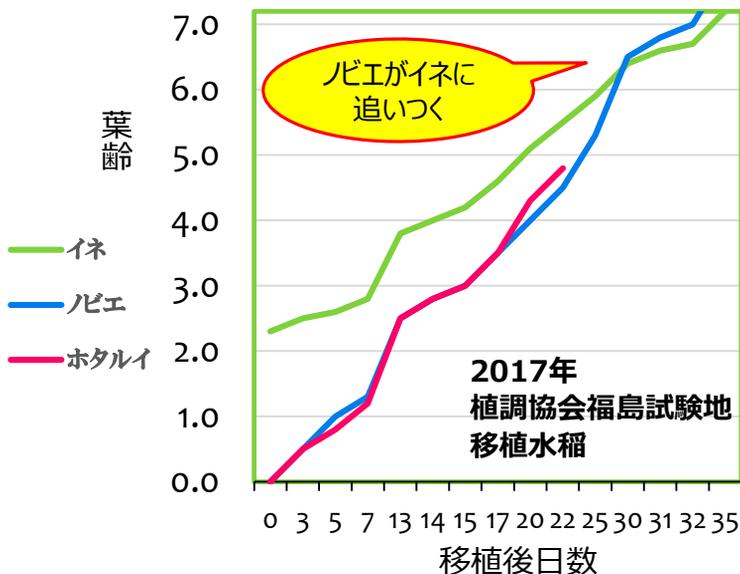
雑草という名前の植物はありませんが、なぜ雑草という名前は広く汎用されているのでしょうか。

それは、作物を栽培する水田や畑に勝手に生えてきて、作物の生育に害を及ぼす植物群であったり、庭や公園等の美観を損ねる一部の草種です。おおよそ、人間の生活にとって不必要な個体群を総称して雑草と呼んでいるようです。

今月号では、水田に発生する雑草に焦点をおいてご説明します。より効率的な雑草防除を考える上で、雑草がどのように水稻の生育へ害を及ぼしているかを知るのも重要です。

養分競合①

雑草全般的に共通して、稲と土壌中の養分の競合があります。その中でも特に水稻の**移植初期**、もしくは**播種後の生育初期**に注意しなければならぬ草種に**ビエ**や**コナギ**等が該当します。田植直後に出芽した**ビエ**や**コナギ**は生育が水稻より早くなる場合があります(右図)、稲が土壌中での養分の競合に負けて減収します。



➤ 移植後30、40日後に発生する**ビエ**等は収量にあまり影響しません(下表)。
タイヌビエをそれぞれの時期に播種して直ちに発芽させたときのヒエの生育量

タイヌビエ 播種日 (月/日)	水稻移植 後日数 (日)	水稻と混植した場合				
		草丈 (cm)	茎葉風乾重 /株 (g)	穂数/株 (本)	種子数/株 (粒)	種子数/穂 (粒)
5/25	+0	110	14.2	17	2,072	121
6/5	+11	103	3.2	5	616	123
6/15	+21	56	0.4	1	5	5
6/25	+31	55	0.5	1	15	15
7/5	+41	0	0	0	0	0



▲ コナギ激発圃場

出典：古谷勝司ら,1978. 水田における野生ヒエの生育と種子生産。
雑草研究 23 : 180-185



Point

稲の生育が進んでから発生する固体は出穂しなかったり、大きくなりません。

⇒移植後、播種後における稲の生育初期の防除が重要!!

養分競合②

水稻の移植が終わってからも、落水して田面が露出したり、中干してからはアゼナやキカシグサのような広葉雑草が発生したり、5~25cmの土中から発生するクログワイやオモダカも養分の競合相手となります。

オモダカは土中に塊茎が多く存在すると、だらだら発生し、窒素肥料の吸収力が大きいので、競合力は大きいと考えられています。



オモダカ矢じり葉 2葉期 ▶

◀ クログワイ激発圃場



クログワイも塊茎が多く存在する場合、9月になってもだらだら発生し、激発した場合は収穫の妨げにもなります。



Point

・完全防除には発生密度を減らす為に除草剤の連年施用が必要
⇒オモダカ、クログワイの発生に合わせて防除しましょう

虫害の原因

ビエの出穂は斑点米カメムシのような害虫を誘致し、結果として米の品質低下を招きます。近年、カスミカメムシはイヌホタルイ等、カヤツリグサ科の小穂にも産卵する種が存在することが判明しており、カヤツリグサ科の雑草の発生も斑点米カメムシの原因になりうると考えられています。



↑ 斑点米の原因となるカメムシの一種、ホソハリカメムシ(右)とその幼虫(左)



Point

・完全防除がこれらの害虫被害の減少につながります



製品のご紹介

農林水産省登録 第23425号

フルパグー[®]MX

1キロ粒剤

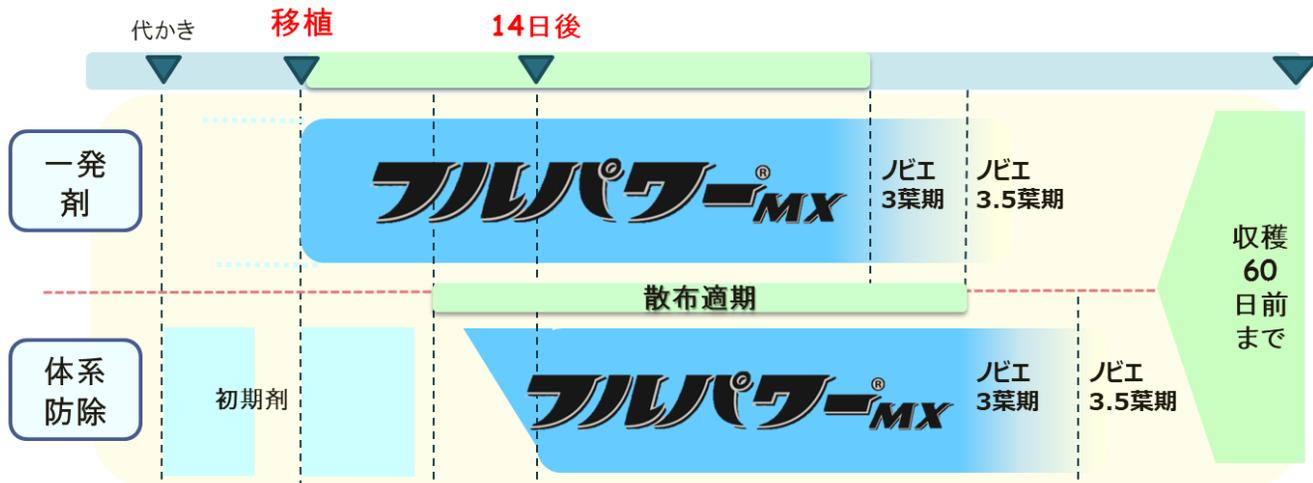


- 3.5葉期までのノビエにすぐれた効果
- SU抵抗性雑草にすぐれた効果
- 難防除多年生雑草にも有効

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、 ミスガヤツリ、ウリカワ、クログワイ、 オモダカ、ヒルムシロ、セリ、コウキヤガラ、 エゾノサヤスグサ、シズイ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg /10a	1回	田植同時散布機 で施用
		移植直後～ ノビE3.5葉期 但し 収穫60日前まで			湛水散布または 無人航空機による 散布
直播 水稻	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ウリカワ、 ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビE3.5葉期 但し 収穫60日前まで			

各有効成分を含む農薬の総使用回数:ピラクロニル...2回以内、フルセトスルフロン...2回以内、メソトリオン...2回以内

上手な使い方



- 確実な除草効果を出すための散布適期は、一発処理でも、体系処理でも雑草生育始期からノビE3葉期です。
- 薬剤散布後7日間は強制落水しないでください。

石原の農薬登録情報



●2018年12月1日～2019年1月15日までの間に登録された弊社の新農薬（適用拡大を含む）は、
ございません。引き続き、弊社製品にご愛顧を賜りたく、宜しくお願い致します。

弊社では、圃場の土壌を御送付頂き、その土壌中のセンチュウ量を測定し、
防除計画の御参考にして頂く無料サービスを継続実施しております。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2
TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>



センチュウ検定
無料キャンペーン
実施中